

地方創生推進交付金事業の 事業報告について

玉名市 企画経営課

「シートの見方」

1、事業概要

事業名	＜ 交付金申請時の事業名称を記載 ＞				No. @
交付金を活用して目指す将来像	＜ 交付金申請時に記載した事業将来像（目標）を記載 ＞				
事業費、実施期間等	当該年度の対象事業費 千円	交付率 (/)	当該年度の交付額 千円	実施期間 元号 年度 ~ 元号 年度	
事業費の内訳	＜ 対象事業費の内訳を記載 ＞				
			担当課	＜ 事業所管部署を記載 ＞	




2、総合戦略と交付金事業の関係図

＜ 「玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 と 「地方創生推進交付金交付事業」 との関係図を記載 ＞

3、指標及び実績等

指標番号	< 設定した指標を記載 >	< 年度毎の「目標 対 実績」をグラフで表示 >
目 標	< 事業開始前の数値のほか、年度毎の目標値を記載 >	
年度実績	< 年度毎の実績値を記載 >	
達成度(率)	< 達成値、達成率を記載 >	
達成又は未達成である理由	< 達成又は未達成である理由を記載 >	< 事業に係る参考画像 >
今後の方向性と取組み事業	< 事業の今後の方向性と次年度の取組み事業を記載 >	

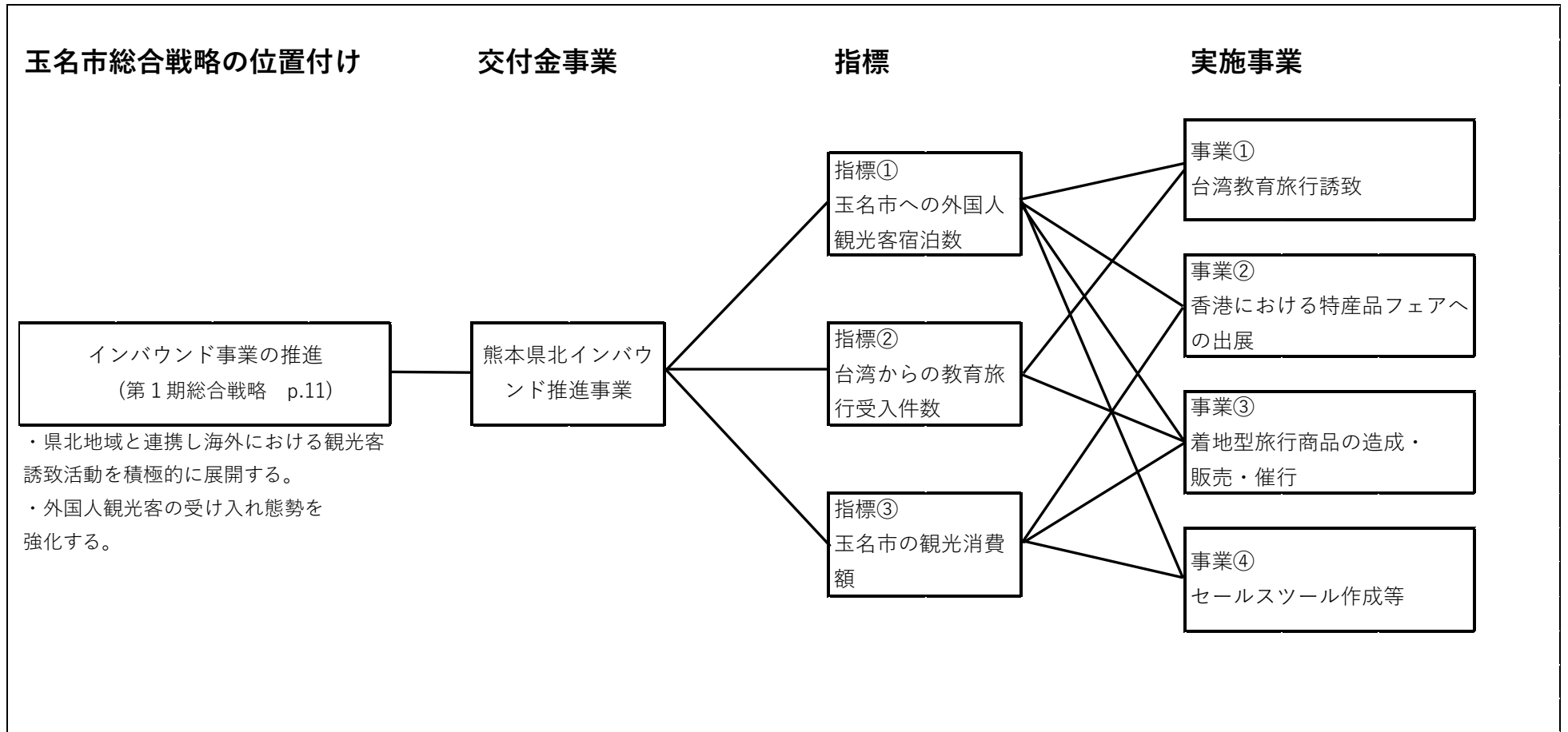
4、審議会委員からの評価

事業の評価	委員からの主な意見
   有効が半数を超える 無効が半数を超える それ以外 < 評価内容を記載 > (有効であった・有効でなかった・どちらでもない) < 評価毎の委員数を記載 >	< 委員から受けた「主な意見」を記載 >
・有効であった： 人数 ・有効でなかった： 人数 ・どちらでもない： 人数	

1、事業概要

事業名	熊本県北インバウンド推進事業				No. 1
交付金を活用して目指す将来像	多様な関係者の連携のもと、海外の旅行者へのプロモーションや受入環境の整備等に取り組むことで外国人観光客の増加を図り、宿泊や飲食、交通、農業等幅広い分野での消費を拡大することで、地域経済の活性化を目指す。				
事業費、実施期間等	令和元年度対象事業費 (玉名市分) 1,400 千円	交付率 1/2	令和元年度交付額 (玉名市分) 700 千円	実施期間 平成 29 年度 ~ 令和 3 年度	
事業費の内訳	<p>次の取り組みについて、県、玉名市、菊池市、山鹿市及び和水町で組織する「熊本県北観光協議会」に玉名市分 1,400 千円を負担金として支出し事業運営。</p> <p>■滞在時間延長と消費拡大の取組み (571 千円)</p> <p>①教育旅行の誘致 『台湾教育旅行誘致』</p> <p>②農産品の消費拡大の取組み 『香港における特産品フェアへの出展』</p> <p>■プロモーションツールの開発と海外への展開 (829 千円)</p> <p>『着地型旅行商品の造成・販売・催行』 『セールスツール作成等』</p>				
			担当課	ふるさとセールス課	

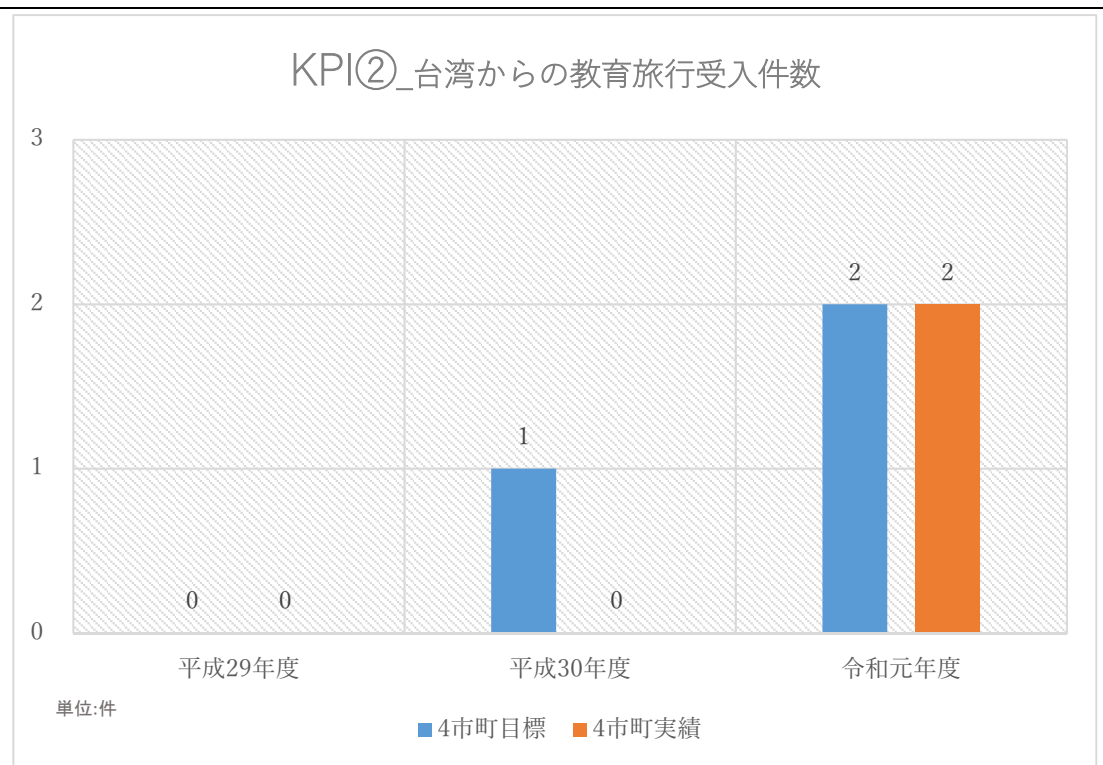
2、総合戦略と交付金事業の関係図



3、指標及び実績等

指標 ①	玉名市への外国人観光客宿泊数	<p>KPI①_玉名市への外国人観光客宿泊数</p> <table border="1"> <caption>外国人観光客宿泊数実績比較表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標 (人)</th> <th>実績 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,618</td> <td>2,030</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,941</td> <td>2,984</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>2,330</td> <td>3,524</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標 (人)	実績 (人)	平成29年度	1,618	2,030	平成30年度	1,941	2,984	令和元年度	2,330	3,524
年度	目標 (人)	実績 (人)												
平成29年度	1,618	2,030												
平成30年度	1,941	2,984												
令和元年度	2,330	3,524												
目 標	事業開始前 1,348人 ・平成29年度(1年目) 1,618人 ・平成30年度(2年目) 1,941人 ・令和元年度(3年目) 2,330人 ・令和2年度(4年目) 2,796人 ・令和3年度(5年目) 3,355人 事業終了後増加目標数 +2,007人													
年度実績	・平成27年度(参考値) 2,247人 ・平成28年度(参考値) 1,373人 ・平成29年度(1年目) 2,030人 ・平成30年度(2年目) 2,984人 ・令和元年度(3年目) 3,524人													
達成度(率)	令和元年度 +1,194人 (151.2%)													
達成又は未達成の理由	・本市がインバウンドのメインターゲットと定める台湾及び香港をはじめとした東アジアを中心に外国人宿泊客数が増加した。交付金を活用した継続的なプロモーションと、官民連携した取り組みの成果により、目標を大きく上回る実績につながった。	<p>熊本県北FAIR 2020/1/16 in 香港</p>												
今後の方向性と取り組み事業	・令和元年度の目標は達成したものの、日韓関係の悪化や新型コロナウイルスの影響により、インバウンド事業の先行きは不透明な状況となっている。新型コロナウイルス収束の状況や、各国の渡航制限等を見極めながら事業を実施していかなければならない。国内市場へのプロモーションと並行しながら、玉名市への旅行者・宿泊客数増につなげていく。	<p><香港 熊本県北フェアの様子></p>												

指標 ②	台湾からの教育旅行受入件数	
目 標 (累計)	事業開始前	0件
	・平成29年度(1年目)	0件
	・平成30年度(2年目)	1件
	・令和元年度(3年目)	2件
	・令和2年度(4年目)	3件
	・令和3年度(5年目)	4件
事業終了後増加目標数	+4件	
年度実績 (累計)	・平成29年度(1年目)	0件
	・平成30年度(2年目)	0件
	・令和元年度(3年目)	2件
達成度(率)	・令和元年度	±0件(100%)



達成又は未達成の理由

・これまで実現できなかった台湾からの教育旅行受入れが2件実現した。これは、平成29年度から続けてきたプロモーション活動の成果であり、令和元年度は、台湾からの高校生62人を菊池市に受入れ、民泊と郷土料理作り体験を実施した。もう1件は、台湾の太鼓協会団体30人を玉名市、山鹿市及び和水町に受入れ、玉名市内のホテルに宿泊し、観光施設やガイドツアー等を体験していただいた。

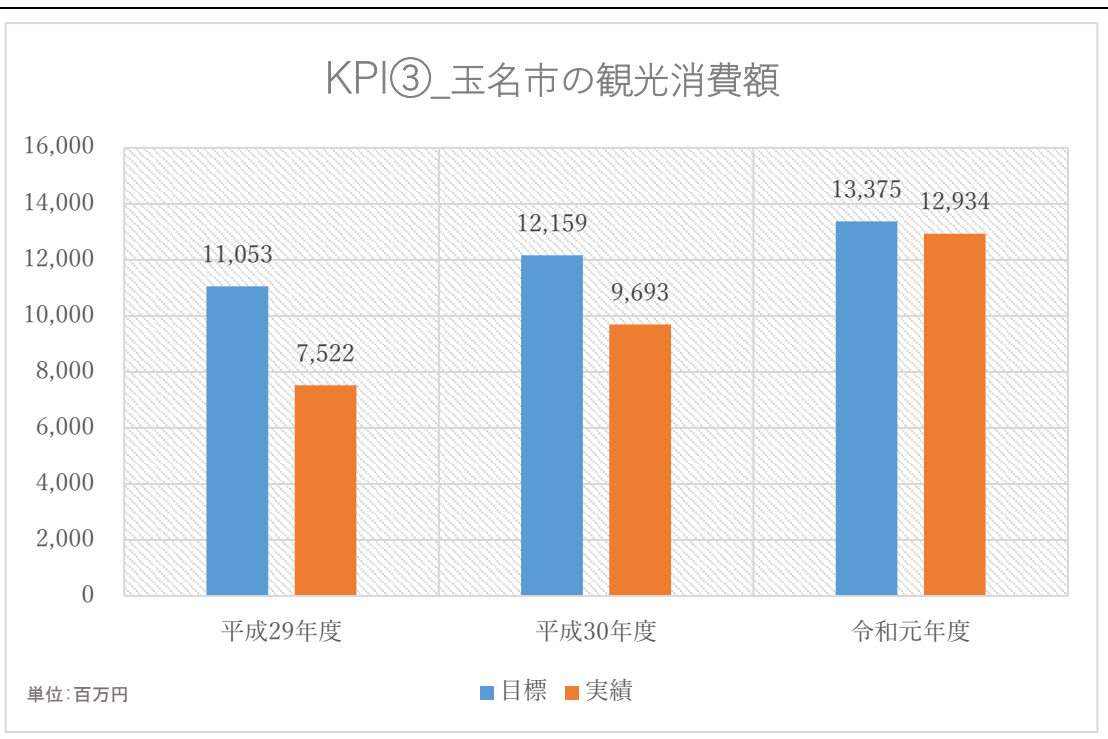
今後の方向性と取組み事業

・令和2年度の教育旅行受入れの累計目標件数は3件であり、新型コロナウイルスの影響が大きく達成できるか不透明な状況であるが、令和元年度に受入れに成功した台湾からの2件を継続出来る様に働きかけを行うとともに、新たな台湾からの教育旅行受入れのためのプロモーション活動を展開したい。



<菊池市受入れ教育旅行の様子>

指標 ③	玉名市の観光消費額
目標	事業開始前 9,135 百万円 ・平成 29 年度（1 年目）11,053 百万円 ・平成 30 年度（2 年目）12,159 百万円 ・令和元年度（3 年目）13,375 百万円 ・令和 2 年度（4 年目）14,713 百万円 ・令和 3 年度（5 年目）16,184 百万円 事業終了後増加目標数 +7,049 百万円
年度実績	・平成 28 年度（参考値）6,897 百万円 ・平成 29 年度（1 年目）7,522 百万円 ・平成 30 年度（2 年目）9,693 百万円 ・令和元年度（3 年目）12,934 百万円
達成度（率）	・令和元年度 -441 百万円（96.7%）



達成又は未達成の理由

- ・平成 30 年度から令和元年度の目標増加数は超えているが、熊本地震による影響が残っており、目標達成には至っていない。
- ・前年度と比較し日帰り客で約 19 万人、宿泊客で約 3,600 人増加したが、これは主に大河ドラマ「いだてん」放映の効果が出たものと考えられる。

今後の方向性と取組み事業

- ・（一社）玉名観光協会の WEB サイト「たまらら」を活用し、着地型旅行商品や地域特産品の販売を促進し、滞在時間の延長、リピーターの確保、新規顧客の開拓を行う。
- ・海外に向けても民間事業者と連携し、海外 OTA サイト等を通じた着地型旅行商品の販売や越境 EC サイト等も含めた新型コロナウイルスに対応した販売手法を検討し、地域特産品の販売促進を行うことで玉名市ファンを獲得し、観光消費額の増加につなげていく。



<みかん狩りの様子>

※OTA…インターネット上で取引を行う旅行会社のこと。「Online Travel Agent」の略。

※越境 EC…国境を越えて通信販売を行うオンラインショップのこと。ECは「Electronic Commerce」の略。

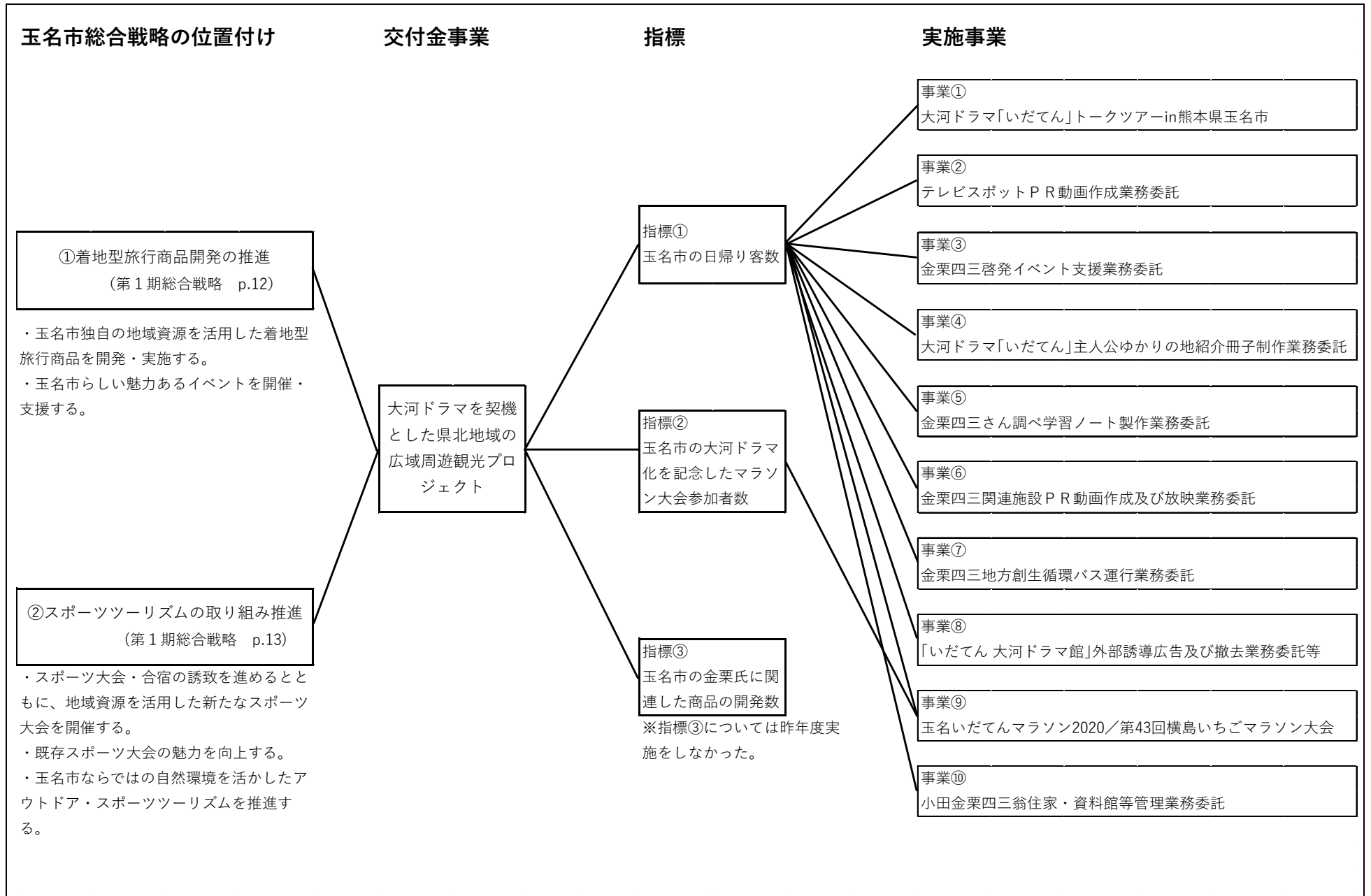
4、審議会委員からの評価

事業の評価	委員からの主な意見
<div data-bbox="300 288 421 408" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="266 448 461 485">有効であった</p> <ul data-bbox="197 512 517 675" style="list-style-type: none"> ・有効であった： 10人 ・有効でなかった： 0人 ・どちらでもない： 0人 	<ul data-bbox="584 272 2080 735" style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響でインバウンド推進の在り方自体を見直していく必要があるため、状況を見極めながら、今後のプロモーションの対象や活動内容について検討した上で、適切な事業実施を行っていただきたい。 ・「着地型旅行商品の造成・販売・催行」の結果（数字）が3組と芳しくないので、本事業に関しては課題を整理した上で改善策を練っていく必要がある。 ・新型コロナウイルスの影響で事業が難しい状況ですが、“with コロナ”で新しい観光のあり方を模索するにあたり、良い下地づくりができています。 ・インバウンド推進事業は継続的な活動が大切であり、目先の効果だけにとらわれず、インバウンド事業として育てていくという発想が大事であると考えます。 ・新型コロナウイルスの終息時期は不透明であるが、台湾からの教育旅行の受入れが継続できるよう、取り組みを行っていただきたい。 <p data-bbox="1753 756 1805 783">など</p>

1、事業概要

事業名	大河ドラマを契機とした県北地域の広域周遊観光プロジェクト			No. 2
交付金を活用して目指す将来像	「金栗四三」氏ゆかりの地であることを全国にPRするとともに、訪れる観光客のニーズに対応した観光施設の整備と他の地域も周遊するための取組み等を実施し、大河ドラマによる誘客効果を最大化させ、県北地域にその経済効果を波及させる。また、本事業で広域連携した観光振興への取組み手法やノウハウを県下全域に広げていく。			
事業費、実施期間等	令和元年度対象事業費 (玉名市分) 58,505 千円	交付率 1/2	令和元年度交付額 (玉名市分) 29,252 千円	実施期間 平成30年度～令和2年度
事業費の内訳	<p>■観光誘客促進 (14,643 千円)</p> <p>『大河ドラマ「いだてん」トークツアー in 熊本県玉名市』 『テレビスポットPR動画作成業務委託』 『金栗四三啓発イベント支援業務委託』 『大河ドラマ「いだてん」主人公ゆかりの地紹介冊子制作業務委託』 『金栗四三さん調べ学習ノート製作業務委託』 『金栗四三関連施設PR動画作成及び放映業務委託』</p> <p>■受入体制強化 (25,549 千円)</p> <p>『金栗四三地方創生循環バス運行業務委託』 『「いだてん 大河ドラマ館」外部誘導広告及び撤去業務委託等』</p> <p>■誘客効果の持続・発展と周遊観光の拡大 (18,313 千円)</p> <p>『玉名いだてんマラソン2020／第43回横島いちごマラソン大会』 『小田金栗四三翁住家・資料館等管理業務委託』</p>			
			担当課	企画経営課 金栗四三PR推進係

2、総合戦略と交付金事業の関係図



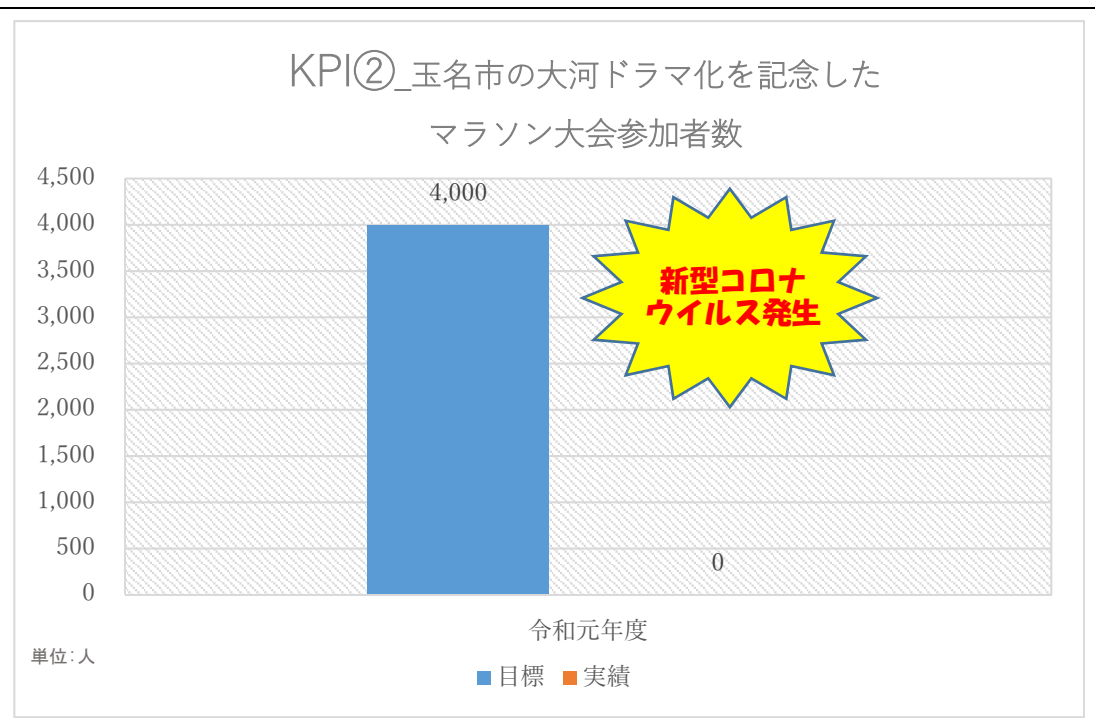
3、指標及び実績等

指標 ①	玉名市の日帰り客数	<div style="text-align: center;"> <p>KPI①_玉名市の日帰り客数</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>KPI①_玉名市の日帰り客数 (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,598,338</td> <td>1,598,338</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,963,695</td> <td>2,133,271</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>2,329,052</td> <td>2,321,539</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	目標	実績	平成29年度	1,598,338	1,598,338	平成30年度	1,963,695	2,133,271	令和元年度	2,329,052	2,321,539
年度	目標		実績											
平成29年度	1,598,338		1,598,338											
平成30年度	1,963,695		2,133,271											
令和元年度	2,329,052		2,321,539											
目 標	事業開始前 1,598,338 人 ・平成30年度(1年目) 1,963,695 人 ・令和元年度(2年目) 2,329,052 人 ・令和2年度(3年目) 2,694,416 人 事業終了後増加目標数 +1,096,078 人													
年度実績	・平成27年度(参考値) 2,195,436 人 ・平成28年度(参考値) 1,398,893 人 ・平成29年度(参考値) 1,598,338 人 ・平成30年度(1年目) 2,133,271 人 ・令和元年度(2年目) 2,321,539 人													
達成度(率)	・令和元年度 -7,513 人 (99.7%)													
達成又は未達成の理由	・目標日帰り客数未達成の理由としては、日韓関係の悪化によるもの等が考えられるが、昨年度と比較し増加した要因の1つとして、大河ドラマ「いだてん」やその関連施設が一定程度の効果をもたらしたと考えられる。													
今後の方向性と取組み事業	・今回の「いだてん」関連事業が一過性のものでなく、継続的なものとなるよう「金栗四三」氏のレガシー(遺産)を活かした様々な取組みを関係市町及び官民が一体となって行うことで、更なる地域の活性化につなげていく。													



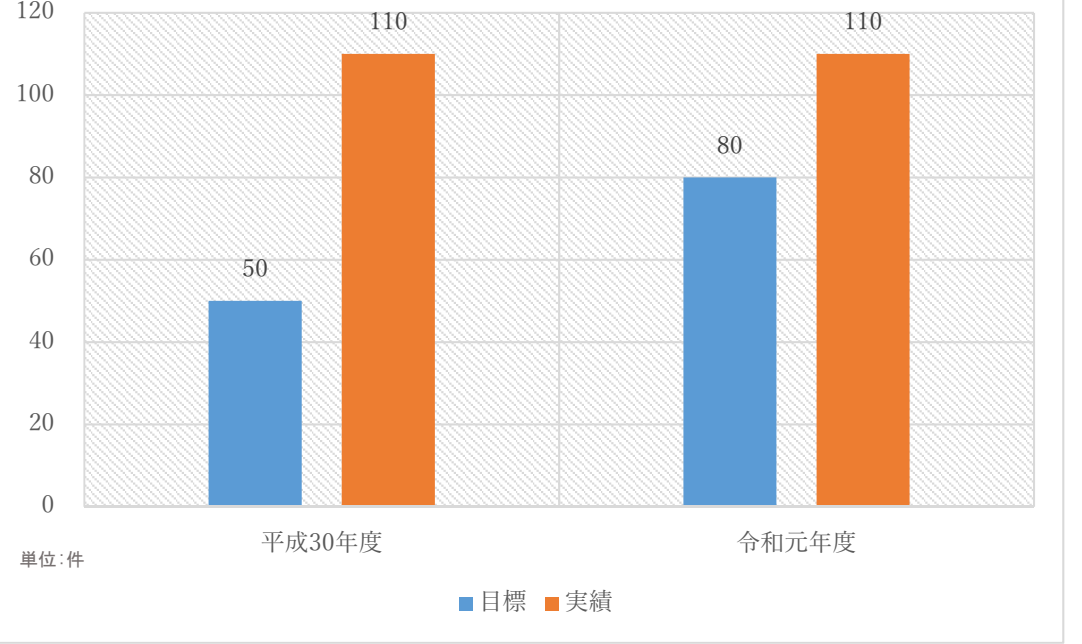

<金栗四三翁住家の様子>

指標 ②	玉名市の大河ドラマ化を記念したマラソン大会参加者数
目標	事業開始前 一人 ・平成30年度(1年目) 一人 ・令和元年度(2年目) 4,000人 ・令和2年度(3年目) 5,000人 事業終了後増加目標数 +5,000人
年度実績	・平成30年度(1年目) 一人 ・令和元年度(2年目) 0人
達成度(率)	・令和元年度 -4,000人(0%)



達成又は未達成の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ化を記念したマラソン大会「玉名いだてんマラソン 2020/第43回横島いちごマラソン大会」が令和2年2月23日(日)に開催される予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催を中止したため未達成となった。 ・エントリー数は玉名いだてんマラソンが2,029人、横島いちごマラソン大会が5,061人、全体で7,090人となっており、開催されていた場合、目標は達成していた。
今後の方向性と取組み事業	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「玉名いだてんマラソン/横島いちごマラソン大会」の開催に向けて参加者や市民への周知、大会運営を行ううえで各種団体等の協力を求めていく。 ・大河ドラマ「いだてん」の放送により、多くの方に「金栗四三」氏の功績を知っていただいた。放送終了により、一過性にならないためにも大会を通じ全国からの参加者へ伝達していく。

2020.2.23 [SUN] 開催!
 <玉名いだてんマラソン チラシ>

指標 ③	玉名市の金栗氏に関連した商品の開発数	<p style="text-align: center;">KPI③_玉名市の金栗氏に関連した商品の開発数</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標 (件)</th> <th>実績 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>50</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>80</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">単位: 件</p> <p style="text-align: center;">■ 目標 ■ 実績</p>	年度	目標 (件)	実績 (件)	平成30年度	50	110	令和元年度	80	110
年度	目標 (件)		実績 (件)								
平成30年度	50		110								
令和元年度	80		110								
目標 (累計)	事業開始前 0 件 ・平成30年度 (1年目) 50 件 ・令和元年度 (2年目) 80 件 ・令和2年度 (3年目) 100 件 事業終了後増加目標数 +100 件										
年度実績 (累計)	・平成30年度 (1年目) 110 件 ・令和元年度 (2年目) 110 件										
達成度(率)	・令和元年度 +30 件 (137.5 %)										
達成又は未達成の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は「大河ドラマ いだてん」はIOCのオリンピックプロパティに伴う制約によって関連商品等への利用が禁止されていることや、関係各所との調整が難航したことなどの要因により、金栗氏関連の新規商品開発が実施されなかった。 ・しかしながら、平成30年度に金栗氏関連の新規商品開発が110件あったため累計の目標数は達成となった。 	 <p style="text-align: center;"><金栗四三関連商品 金栗足袋></p>									
今後の方向性と取組み事業	令和2年度も、「金栗四三」氏に関する新たな商品開発に向け、関係各所と調整を行い実施に至るよう進めていく。										

4、審議会委員からの評価

事業の評価	委員からの主な意見
<div data-bbox="295 293 414 411" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="255 437 452 475">有効であった</p> <ul data-bbox="185 501 510 660" style="list-style-type: none"> ・有効であった： 10人 ・有効でなかった： 0人 ・どちらでもない： 0人 	<ul data-bbox="584 277 2078 596" style="list-style-type: none"> ・レガシーの形成はこれからの課題であり、関連資源の活用、関連グッズの存続、継続した情報発信など、投資に対する効果が「見える化」できる戦略に基づいた計画・事業を期待したい。 ・流行に乗るという点で、もう少し早い段階で「いだてん」ブームを盛り上げるべきだと感じた。 ・一過性のブームに終らせず金栗翁のレガシーを活かす取り組みを行う必要がある。 ・次年度もコロナウイルスの影響は残ると考えられるので、マラソン大会の内容を柔軟に変更できるよう、あらかじめ検討しておく必要があると考える。 ・大河ドラマが終わった後も観光に来てもらえるよう、新たなPR や取り組みが必要となる。 <p data-bbox="1744 612 1800 644">など</p>